

— 学 会 録 事 —

1. 日本藻類学会第12回大会

昭和63年3月30日・31日の両日、三重大学・生物資源学部水産学校舎において第12回大会を開催した。大会会長は岩崎英雄氏（三重大）で、参加者は117名であった。講演は54題の一般講演があった。

大会第1日目に同会場において総会を開催し、引き続き三重大学水産食堂で約2時間にわたって懇親会を開催した。懇親会は前川行幸氏（三重大）の司会、谷口森俊氏の乾杯の音頭で始まり、盛会裡に終了した。参加者は97名であった。三重大学の教官諸氏および学生諸氏には大会運営にあたっていろいろご協力頂き、厚く御礼申し上げる。

懇親会参加者

秋岡英承, 秋山 優, 鰐坂哲朗, 安達六郎, 有賀祐勝, 池原宏二, 石川依久子, 市村輝宜, 出井雅彦, 伊藤裕之, 井上 勲, 岩井寿夫, 巖佐耕三, 岩崎英雄, 梅崎 勇, 榎本幸人, 江原友子, 大喜田勝, 大塚晴江, 大野正夫, 大葉英雄, 大森長朗, 奥田武男, 長船哲斎, 小野 淳, Christine A. Orosco, 柿木孝文, 笠井文絵, 加藤英男, 片山舒康, 香村真徳, 川合哲夫, 川井浩史, 川嶋昭二, 河池正伸, 菊地和夫, 北沢星磁, 喜田和四郎, 熊野 茂, 倉島 彰, 黒田充恵, 小林艶子, 小林 弘, 今野敏徳, 斎藤捷一, 斎藤 讓, 坂西芳彦, 瀬戸良三, 高橋永治, 高村典子, 田中次郎, 谷口森俊, 千原光雄, 張 曉明, 坪 由宏, 徳田 廣, 戸田淳一郎, 土井考爾, 中原紘之, 長島秀行, 名畑進一, 南 基完, 野崎久義, 野田宏行, 原 慶明, Richardo J. Haroun, 半田信司, 馬場将輔, 日野修次, 福島 博, 福田育二郎, 藤井修平, 藤村太一郎, 堀 輝三, マーチャート, 前川行幸, 増田道夫, 松井敏夫, 松山恵二, 真山茂樹, 丸山 晃, 三浦昭雄, 水野 真, 御園生拓, 宮地和幸, 村瀬 昇, 安井 肇, 籾 颯, 山岸高旺, 山本真規子, 山本虎夫, 横浜康継, 善家俊二, 吉武佐紀子, 吉田忠生, 渡辺 信, 渡辺里香

2. 評議員会・編集委員会

第12回大会の前日、3月29日に三重大学・生物資源学部水産学校舎2階会議室において編集委員会（14：00～15：30）および評議員会（15：30～19：30）を開催し、昭和63年度総会に提出する報告事項・議題など

の審議を行った。議題については総会の項を参照されたい。

評議員会出席者：梅崎 勇会長, 秋山 優, 石川依久子, 巖佐耕三, 榎本幸人, 大野正夫, 奥田武男, 喜田和四郎, 小林 弘, 千原光雄, 原 慶明, 三浦昭雄, 籾 颯, 横浜康継の各評議員, 坪 由宏編集委員長および鰐坂哲朗, 市村輝宜, 熊野 茂, 中原紘之各幹事。

編集委員会出席者：坪 由宏委員長, 石川依久子, 巖佐耕三, 榎本幸人, 高橋永治の各編集実行委員, 秋山 優, 有賀祐勝, 岩崎英雄, 奥田武男, 小林 弘, 堀 輝三, 吉田忠生の各編集委員, 梅崎 勇会長および鰐坂哲朗, 市村輝宜, 熊野 茂, 中原紘之各幹事。

3. 昭和63年度総会

昭和63年3月30日（大会第1日目）の講演終了後、三重大学・生物資源学部水産学校舎において総会を開催した。梅崎会長の挨拶に続いて、喜田和四郎氏を議長に選出して議事に入った。

1. 報告事項

1. 庶務関係

(1)会員状況（63年2月現在）：名誉会員3名、普通会员529名、学生会員47名、団体会員56名、賛助会員14名、外国会員81名、購読・寄贈・交換75件。(2)昭和62年度文部省科学研究費刊行補助金「研究成果公開促進費」は104万円で、責任頁は300頁である。なお、昭和63年度分として199万円の申請を行い責任頁は300頁である。(3)日本学会事務センターに会員業務を委託した。委託料は69万6919円である。

2. 会計関係

(1)昭和63年度の会費納入率は3月26日現在で普通会员53%、学生会員33%である。(2)昭和62年一般会計と同山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告は昭和63年3月10日、瀬戸良三（神戸女学院大学）、清水晃（奈良女子大学）の両会計監事により適正であると承認された。

3. 編集関係

(1)昭和62年度に発行した第35巻1～4号は、総頁数305頁、掲載論文数28編、短報8編、広告頁17頁であった。(2)昭和62年度に発行した第36巻1号は、掲載論文数8編、短報5編、総説1編、第12回大会講演要旨、学術会議日より、を含めて、112頁で発行した。

第36巻2号以降に掲載予定の投稿論文は審査中のものを合わせて24編である。(3)昭和63年度編集実行委員に、四天王寺国際仏教大学の巖佐耕三氏を委嘱する。

4. その他

(1)会則の趣旨に沿って日本藻類学会主催の海藻採集会を大会終了後、三重大学生物資源学部附属水産実験所(志摩郡志摩町)で開催する。(2)日本藻類学会昭和62年度秋季シンポジウムを植物学会大会前日の昭和62年11月25日午後1時に茨城県つくば市の国立公害研究所で開催した。

II. 審議事項

1. 昭和62年度一般会計決算報告および同監査報告は表-1のとおり承認された。2. 昭和62年山田幸男博士記念事業基金特別会計の決算報告および監査報告は表-2のとおり承認された。3. 昭和63年度一般会計予算案は表-3のように可決承認された。4. 編集関係では次の事項が承認された。(1)審査委員に対する謝辞の文面は現状通りとする。(2)秋季シンポジウムの記事は、発表者が各人2,000~4,000字程度に纏め、学会録事として掲載する。(3)制限頁を一部緩和し、論文(英文10頁,和文6頁),短報3頁,速報2頁,雑録1頁,総説15頁とする。速報は有料で1頁12,000円の掲載料を徴収する。以上の変更に伴って、投稿案内を改訂する。5. 昭和63年度事業計画として次の事項が決められた。(1)本年度の秋季シンポジウムは岡山大学で開かれる日本植物学会第53回大会前日の10月12日に山陽学園短期大学の森長朗氏を世話人として岡山市の山陽学園短期大学で開催する。(2)来年度の日本藻類学会第13回大会は福島 博氏を世話人として東京女子体育大学で開催する。6. 会則の付則第2条の2を次のように変更することが承認された。「地区割は次の8地区とする。北海道地区,東北地区,関東地区,東京地区,中部地区(三重県を含む),近畿地区,中国・四国地区,九州地区(沖縄県を含む)。」7. 第4回国際バイオシステムティック・シンポジウム(昭和64年7月10日~14日)の組織委員長(河野昭一氏,京大教授)及び第5回国際微生物生態学シンポジウム(昭和64年8月27日~9月1日)の組織委員長(門田元氏,京大名誉教授・近畿大教授)からの申し出により,それぞれの後援団体及び協賛学会となることになった。8. 日本学術会議第14期会員候補者および推薦

人予備者の決定について。本年度は日本学術会議会員改選の年に当たります。本学会では会員候補者及び推薦人・推薦人予備者の選出に関する内視(昭和59年12月21日制定,昭和62年3月29日一部字句訂正)に従い,評議員による選挙をおこないません。その結果,最高得票者は千原光雄氏となりましたが,同氏は日本植物学会の推薦人になっておりますので,会員候補者を兼ねることができません。そのために次点者の下記の方に決定しました。

日本学術会議第14期会員候補者 梅崎 勇

また,次の方を推薦人,推薦人予備者に決定しました。

日本学術会議推薦人 小林 弘

日本学術会議推薦予備者 山岸高旺

4. 日本藻類学会海藻採集会報告

昭和63年3月31日(木)日本藻類学会第12回大会終了後,大学バスで三重大学生物資源学部附属水産実験所(志摩郡志摩町)に移動して,4月1日(金)~2日(土)に海藻採集会を開催した。喜田和四郎氏と前川行幸氏(三重大)を講師に本学会会員を中心に下記の17名(手伝いを兼ねた三重大の大学院生1名を含む)が参加した。4月1日午前中は志摩郡浜島町矢取島の海岸で磯採集,午後から2班に分かれ,カジメ群落の潜水観察やヒトエグサ養殖場の見学をした後,2日正午まで採集品の整理・同定観察と標本作成などを行った。なお,本海藻採集会の内容の詳細は田中次郎氏(国立科博・植物)の参加記(次号掲載予定)を参照されたい。

参加者:池原宏二(日本海区水研),伊藤真理(日本女子大),井本善次(高知大,海洋生物センター),大野正夫(高知大,海洋生物センター),大葉英雄(東水大,植物),Christine A. Orosco(高知大,海洋センター),片山舒康(東京学芸大,生物),川嶋昭二,喜田和四郎(三重大,生物資源),田中次郎(国立科博,植物),鍋島靖信(大阪府水試),馬場将輔(日本海洋生物研),前川行幸(三重大,生物資源),御園生拓(山梨大),村瀬昇(三重大,生物資源),横浜康継(筑波大,臨海センター),渡辺里香(高知大,海洋生物センター)

表-1 昭和62年度 一般会計決算報告 (62. 1. 1~62. 12. 31)

日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
会 費	5,039,957	印 刷 費	4,760,980
(普 通 会 員	3,588,000)	(印 刷 代	4,068,120)
学 生 会 員	302,500)	別 刷 代	692,860)
外 国 会 員	642,657)	編 集 費	359,800
団 体 会 員	226,800)	(英 文 校 閲 料	100,000)
賛 助 会 員	280,000)	編 集 補 助 費	34,000)
販 売	841,560	通 信 連 絡 費	225,800)
(定 期 購 読	788,400)	会 誌 発 送 費	224,030
バ ッ ク ナ ン バ ー	53,160)	庶 務 費	568,403
別 刷 代	810,680	(事 務 用 品 費	28,260)
超 過 頁 負 担 金	408,000	会 議 費	49,550)
広 告 代	223,750	通 信 ・ 印 刷 費	112,593)
利 子	4,293	事 務 整 理 補 助 費	0)
プ ロ グ ラ ム 代	30,000	諸 雑 費	142,500)
雑 収 入	163,998	幹 事 旅 費 補 助	55,500)
刊 行 助 成 金	1,040,000	幹 事 手 当	180,000)
		学 会 セ ン タ ー 業 務 委 託 費	696,919
		第 11 回 大 会 補 助	100,000
		秋 季 シ ン ポ ジ ヴ ム 会 場 費	50,000
小 計	8,562,238	小 計	6,760,132
前 年 度 繰 越 金	2,655,284	予 備 費	4,457,390
合 計	11,217,522	合 計	11,217,522

貸借対照表

借 方 (円)	貸 方 (円)		
普通預金(第一勧銀)	1,996,560	未 払 金	65,010
学会センター預け金	1,755,287	前 受 会 費	35,500
郵便振替	17,500		
小口現金	15,881	前 期 繰 越 金	2,655,284
未 収 金	672,672	当 期 繰 越 金	1,802,106
仮 払 い 金	100,000	次 期 繰 越 金	4,457,390
合 計	4,557,900	合 計	4,557,900

昭和63年3月10日

本会計決算報告は適正である事を認める。
昭和63年3月10日

日本藻類学会会長 梅 崎 勇 ㊟
日本藻類学会会計幹事 坂 哲 朗 ㊟
日本藻類学会会計監事 瀬 戸 良 三 ㊟
日本藻類学会会計監事 清 水 晃 ㊟

表-2 昭和62年度山田幸男博士記念事業特別基金会計決算報告 (62. 1. 1~62. 12. 31) 日本藻類学会

収 入 の 部 (円)		支 出 の 部 (円)	
山田幸男博士追悼号 (2冊)	14,000		
学会出版物売上金			
コンプ論文集 (1冊)	1,000		
日米セミナー (4冊)	16,000		
利 子	23,469		0
小 計	54,469	小 計	0
前年度繰越金	1,412,053	次年度繰越金	1,466,522
合 計	1,466,522	合 計	1,466,522

貸借対照表

借 方 (円)		貸 方 (円)	
定期預金 (住友銀行)	1,300,000	前期繰越金	1,412,053
普通預金 (住友銀行)	162,522	当期繰越金	54,469
未収金	4,000		
		次期繰越金	1,466,522
合 計	1,466,522	合 計	1,466,522

昭和63年3月10日

本会計決算報告は適正である事を認める。
昭和63年3月10日

日本藻類学会会長 梅 崎 勇 ㊟
日本藻類学会会計幹事 釜 坂 哲 朗 ㊟
日本藻類学会会計監事 瀬 戸 良 三 ㊟
日本藻類学会会計監事 清 水 晃 ㊟

表-3 昭和63年度 一般会計予算案

日本藻類学会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
会費	4,484,200	印刷費	5,300,000
(普通会員 (529))	3,332,700	(印刷代)	4,500,000
(学生会員 (47))	211,500	(別刷代)	800,000
(外国会員 (81))	290,000	編集費	400,000
(団体会員 (56))	410,000	(英文校閲料)	100,000
(賛助会員 (14))	240,000	(編集補助費)	50,000
販売	320,000	(通信連絡費)	250,000
(定期購読 (50))	270,000	会誌発送費	250,000
(バックナンバー)	50,000	庶務費	1,050,000
別刷代	800,000	(事務用品費)	40,000
超過頁負担金	300,000	(会議費)	50,000
広告代	200,000	(通信・印刷費)	150,000
利子	5,000	(事務整理補助費)	60,000
プログラム代	36,000	(諸雑費)	500,000
雑収入	30,000	(幹事旅費補助)	50,000
刊行助成金	1,040,000	(幹事手当)	200,000
		学会センター業務委託費	710,000
		第12回大会補助	100,000
		秋季シンポジウム会場費	50,000
小計	7,215,200	小計	7,860,000
前年度繰越金	4,457,390	予備費	3,812,590
合計	11,672,590	合計	11,672,590

日本藻類学会第12回大会会計報告 日本藻類学会大会準備委員会

収入の部 (円)		支出の部 (円)	
大会参加費		プログラム代	36,000
(予約 (80名))	194,500	会場使用料	2,389
(当日 (37名))	91,500	懇親会会食代	296,000
懇親会費		アルバイト代	281,250
(予約 (67名))	167,500	諸雑費	70,353
(当日 (30名))	75,000	学会返還金	2,508
学会補助金	100,000		
商品展示代金	60,000		
合計	688,500	合計	688,500

昭和63年4月5日

第12回大会会計幹事 岩井寿夫 ㊞

—会 員 移 動—
新 人 会

住 所 変 更

退 会

永沼 治（長野県），鷹取晟二（岡山県），佐藤重勝（千葉県）